**参考４**

第四期自治基本条例推進委員会の有志による

 第二回　Zoom de まちづくり



～テーマ　町会・自治会とまちづくり～

開催日：令和５年２月２１日（火）

開催時間：１９時～２０時１５分

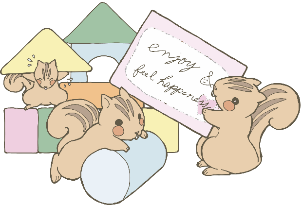
参加者：１１名（委員９名＋事務局２名）

【開催の趣旨】

１．取り組みを知る

２．課題を共有する

横山・岩本・松下・宮澤・小野塚・芳賀・木本・古屋・長尾・川原・秋山≪敬称略≫

３．解決の道を探る

【流れ】

１．発起人の横山委員長より、開催の趣旨、注意事項について説明

２．発題者（今回は、宮澤委員）より、喜沢一丁目町会の現状や課題について説明

是非

３．参加者から発題者へ質疑応答

皆さんは町会・自治会に入会していますか？有事の備えのためにも是非入会し、地域活動へ参加協力をしていきましょう！

【発題者の説明の要旨】　👨

宮澤委員より、喜沢一丁目町会について、ご説明いただく。

●喜沢一丁目町会の特徴→京浜東北線西川口駅が近く、住民のうち70歳以上が１６％、外国人が２４％で多い。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　町会の執行部は平均年齢が６０代半ばで、他町会より若い。

●コロナ前後での町会活動→宮澤委員が平成１６年に小学校PTA会長の際に結成した「親父の会」を強力な助っ人とし、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　餅つき大会、盆踊り大会、昔遊びなどの子どもを対象とした行事、親睦旅行、健康吹き矢、防災訓練などの大人を対象とした行事などを実施してきたが、コロナで数年自粛となった。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　今年度（令和４年度）は親睦旅行、元気体操、初級手話講習など実施。徐々に行事を実施できるようになってきている。

●喜沢一丁目町会の課題→最大の課題は「町会加入世帯の減少」である。高齢や傷病を理由とした退会以外に、様々な

集金や広報配布などの負担感や、行事のない町会に魅力がないという理由での退会も増えた。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　また、「避難時の手助けを必要とする世帯の把握」「町会役員の確保」「外国人との接し方」など。

●課題解決に向けた取り組み→約２か月で戸建ての町会未加入世帯を訪問し、町会加入の呼びかけと避難時の手助けの要否について確認した。「今後、町会活動に協力したい」という嬉しい返答もあった。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　来年度は、会館での救命救急講習、手話研修などを予定している。

魅力ある町会活動の実施に向けて、執行部で検討していきたい。

【発題者への質問・意見・提案など】

●外国人について→中国籍の方が多い。西川口駅周辺の変化に伴い、中国人経営の商店も増加し、トラブルも多い。

●喜沢一丁目町会の町会活動について→子ども会の消滅なども市内で相次いでいる中で、若い世代、子ども向けのイベントなどを実施できていて凄い。

●町会の加入世帯増加に向けて→町会のクリーンなイメージ作りが必要ではないか。（会費の用途の明確化など）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　困窮者の支援をするという目的ならもっと参加するのではないか。

●町会役員の役割について→事務の負担軽減が必要ではないか。（NPO法人などに、町会事務を委託するなど）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市から町会に対する依頼事項を見直し、軽減する必要があるのではないか。

●その他→町会活動に限らず、様々な目的で様々な市民活動団体やグループが活発的に動くようになれば、重層的に良い町会に繋がっていくのではないか。